

## 大阪上本町駅天井付近点検時における石綿の不適切な取り扱いについて

近鉄では、大阪上本町駅の天井付近の点検時に石綿を含有している部材の除去を、労働安全衛生法で定められた石綿取扱処理手順を行わずに実施したことが判明しましたのでお知らせいたします。

### 1. 概要

弊社では、2021年7月12日（月）に大阪上本町駅の天井付近からモルタル片（石綿含有なし）が落下しているのを発見したため、7月22日（木）、24日（土）の終電後に同駅構内の同種箇所の緊急点検を実施し、落下の恐れのある部材を取り除きました。その時点で、除去した部材が石綿含有の可能性のあることを認識しましたが、ケイ酸カルシウム板第1種であれば点検を継続しても問題がないと誤認し、8月5日（木）にも点検・除去を行いました。その後、8月16日（月）に同箇所付近梁部の建材分析調査結果を確認したところ、除去した部材が石綿を含有しているケイ酸カルシウム板第2種であることが分かり、必要とされる処理手順を行わずに除去作業を実施したことが判明しました。

### 2. 除去部材

作業日	部材の数量
7月22日（木）終電後	12個
7月24日（土）終電後	20個
8月5日（木）終電後	4個

※1個あたりの大きさ（長さ約7cm×幅約13cm×厚さ約2cm、重さ約85g）、計36個  
用途：鉄骨の耐火被覆材として使用

### 3. 影響

緊急点検は終電後の夜間作業で実施しており、取り除いたケイ酸カルシウム板は作業終了時に全て回収の上、ビニール袋に密封して保管いたしました。なお、従業員には健康診断を実施いたします。また、後日緊急点検した箇所付近および周辺的环境測定を行った結果、石綿繊維数濃度が「建築物等の解体等に係る石綿ばく露防止及び石綿飛散漏えい防止対策徹底マニュアル（2021.3）厚生労働省、環境省」に記載の1本/L以下を下回る0.11本/L未満でした。

なお、当該部材のケイ酸カルシウム板は、お客さまが手を触れることのない天井の梁部に使用されており、含まれている石綿は固定しているので飛散することはなく、駅をご利用のお客さまの健康への影響はございません。

### 4. 再発防止対策等

建築設備の点検、補修手順の決定ならびに指示を社内規則にのっとり厳格に行うとともに、従業員に対して石綿使用箇所について再周知を行い、石綿の取り扱い処理を厳格に行うことで再発防止に努めます。

なお、大阪労働局大阪中央労働基準監督署ならびに大阪市環境局東部環境保全監視グループに報告しております。

以上